



リチウムイオンバッテリー  
取り外し・回収マニュアル  
ルーテシア E-TECH (5AA-BJAHA4MH)  
キャプチャー E-TECH (5AA-HJBH4MH)  
アルカナ E-TECH (7AA-LJLH4MH)

---

2024年7月

---

# 目次

1.	はじめに	3
(1)	はじめに	3
(2)	リチウムイオンバッテリー取り扱い時の注意事項	4
(3)	安全な回収のための重要事項	5
1)	高電圧回路の遮断	5
2)	高電圧コネクタ、端子の処理	5
3)	転売・譲渡・改造・二次利用の禁止	5
2.	リチウムイオンバッテリー引き取り依頼	6
(1)	引き取り依頼	6
(2)	お引き取りに関する依頼及び注意事項	6
(3)	リチウムイオンバッテリー取外しに関する問い合わせ	6
3.	安全な作業を行うための重要事項	7
(1)	特別教育、指名作業の義務付け	7
1)	労働安全衛生法	7
2)	電子医療機器装着者の作業禁止	7
(2)	高電圧作業上の注意	7
1)	安全に関する表記について	7
2)	警告	7
3)	高電圧ハーネス、機器の識別	8
4)	高電圧コネクタ、端子の処理	8
5)	作業中の携帯禁止品	8
6)	取り外したリチウムイオンバッテリーの保管	8
7)	「高電圧作業中」の表示	8
4.	液漏れへの対応	10
5.	引き取りをお断りする事例	11
6.	安全な取り外しのために	12
(1)	車両外観上の特徴	12
(2)	準備品	14

---

# 目次

7. 高電圧系部品と配線の位置 .....	16
8. リチウムイオンバッテリー仕様 .....	17
9. リチウムイオンバッテリー取り外し .....	19
(1) 高電圧遮断手順 .....	19
(2) リチウムイオンバッテリー取り外し手順 .....	22
(3) 引き取りの準備 .....	33

## 1. はじめに

### (1) はじめに

リチウムイオンバッテリー取り外し・回収マニュアル(以下「本マニュアル」)は、当社が輸入・販売するハイブリッド車が日本国内において廃車になった際、搭載されているリチウムイオンバッテリーを回収・リサイクルするための解体事業者向けマニュアルです。

リチウムイオンバッテリーは高電圧であり、作業の取り扱いを誤ると感電など思わぬ重大傷害につながるおそれがあります。

安全に作業していただくために、事前に本マニュアルをよくお読みいただき、注意事項を遵守してください。

車種によりバッテリーユニットの形状、取り外し方法等が異なりますので、必ず車種をご確認の上、対応するリチウムイオンバッテリー取り外し・回収マニュアルを熟読いただき、安全な作業を行ってください。

本マニュアル、及び各車種のリチウムイオンバッテリー取り外し・回収マニュアルは、ルノー・ジャポンホームページにも記載しており、今後発売する車種についても順次掲載していきます。

URL: [https://www.renault.jp/after\\_service/recycle\\_data/price\\_02.html](https://www.renault.jp/after_service/recycle_data/price_02.html)

(2) リチウムイオンバッテリー取り扱い時の注意事項

ルノー・ジャポン(株)では、当社製リチウムイオンバッテリーの転売・譲渡・改造・二次利用等による事故・損害等については、その一切の責任を負いかねます。

使用済リチウムイオンバッテリーの取り扱い時には、以下の注意事項をご確認の上、十分ご注意ください。なお、以下の注意事項を遵守しない場合は、重大な損害や法的責任が発生する場合があります。

二次利用・高電圧に関する注意

リチウムイオンバッテリーは分解・改造または不適切な二次利用を行うと、感電、発煙・発火、電解液漏出事故等が発生し、重大事故に繋がる恐れがあります。

また、リチウムイオンバッテリーは高電圧であり、取り扱いを誤ると感電等重大事故の恐れがあります。取り扱い時には以下の項目を遵守してください。

- 分解、改造などバッテリーに手を加えないこと
- 高所からの落下などバッテリーを破損させるような衝撃を与えないこと(衝撃を加えられると火災や液漏れを発生するおそれがあります。)
- 直射日光/雨水が当たらない場所で保管すること
- 取り外したバッテリーは火に近づけたり、加熱したりしないこと

(3) 安全な回収のための重要事項

1) 高電圧回路の遮断

ハイブリッド車は、最大 250 V 程度の高電圧バッテリーを有しています。取り外し作業を行う前に、必ずサービスプラグを引き抜き、高電圧の遮断措置を行ってください。

サービスプラグを抜かずに高電圧部位の解体、分解、切断等を行うと感電による重度の火傷又は重大傷害や最悪の場合、死亡に至る可能性があります。

2) 高電圧コネクタ、端子の処理

ハイブリッド車から取り外したリチウムイオンバッテリーは高電圧のため取扱いに注意が必要です。取り外した高電圧ハーネスコネクタ、端子は取り外し後直ちに絶縁処理を行ってください。

3) 転売・譲渡・改造・二次利用の禁止

安全上の事故防止のため、絶対に転売・譲渡・改造または不適切な二次利用をしないでください。リチウムイオンバッテリーが適切に回収されずに改造されたり、転売・譲渡、又は不法投棄により第三者に渡ると、相手方でこれらの危険性が認識されず、重大な事故を引き起こすおそれがあります。

車両からリチウムイオンバッテリーを取り外した後は、速やかにリチウムイオンバッテリー回収受付窓口までご連絡を頂き、回収にご協力ください。

## 2. リチウムイオンバッテリー引き取り依頼

リチウムイオンバッテリーを搭載したまま車両のソフトプレス等を行うと、発火のおそれがありますので、必ず取り外してください。

### (1) 引き取り依頼

<LiB回収受付窓口>

取り外したリチウムイオンバッテリーは、自動車再資源化協力機構(自再協)の引取依頼システムより回収を依頼してください。

⇒リチウムイオンバッテリー(LiB)引取依頼システム(<https://www.lib-jarp.org/>)

<LiB回収、引き取り依頼についての事務的な問い合わせ先>

自動車再資源化協力機構(自再協)－JARP－

LiB 回収グループ

[info-libsystem@jarp.org](mailto:info-libsystem@jarp.org)

0570-000-994【平日 9:00～17:00(年末年始及び土日祝祭日を除く)】

### (2) お引き取りに関する依頼及び注意事項

取り外し・回収マニュアル掲載ホームページアドレス

リチウムイオンバッテリーの具体的な取り外し作業は、各車両別の取り外し・回収マニュアルに沿って行ってください。

下記ホームページ上で最新版をご確認ください。

取り外し・回収マニュアル掲載ホームページアドレス

[https://www.renault.jp/after\\_service/recycle\\_data/price\\_02.html](https://www.renault.jp/after_service/recycle_data/price_02.html)

### (3) リチウムイオンバッテリー取外しに関する問い合わせ

リチウムイオンバッテリーの取外しに関する問い合わせは、下記にご連絡をお願いします。

ルノー・コール: 0120-676-0365

受付時間: 9:00～18:00 (年中無休)

### 3. 安全な作業を行うための重要事項

#### (1) 特別教育、指名作業の義務付け

##### 1) 労働安全衛生法

労働安全衛生法 第 59 条及び労働安全衛生規則第 36 条(特別教育、指名作業)

高電圧回路に関わる点検・整備を行う作業者には労働安全衛生法第 59 条ならびに労働安全衛生規則第 36 条に定められた特別教育の受講が義務付けられており、指名作業の手続きを取る必要があります。

##### 2) 電子医療機器装着者の作業禁止

車両には強力な磁石を持つ部品が使われています。ペースメーカー等の電子医療機器装着者は、それらの機器に接近すると磁力の影響を受けるおそれがあるので、車両の作業は絶対に行わないでください。

#### (2) 高電圧作業上の注意

##### 1) 安全に関する表記について

以下の項目は、安全に関して特に重要な事項を説明しています。必ずお読みください。

<p><b>危険</b>：守らないと死亡、又は重大な障害につながる事項及び作業要領</p> <p><b>警告</b>：守らないと生命の危険、又は重大な障害につながるおそれのある事項及び作業要領</p> <p><b>注意</b>：守らないと障害や事故、又は車両や構成部品の損傷につながるおそれのある事項及び作業要領で、特に注意すべき事項</p>
---

##### 2) **警告**：以下の警告事項を遵守して作業を実施すること。

- ハイブリッド車は高電圧リチウムイオンバッテリーを有しているため、取り扱いを誤ると感電、漏電などのおそれがある。取り扱い時は、作業手順に従い正しい作業を実施すること。
- 高電圧系の作業を実施する際は、必ず絶縁保護具を着用すること。
- 高電圧系のハーネス、及び部品の取り扱い時は、高電圧回路を遮断するため、必ずサービスプラグを取り外すこと。
- 取り外したサービスプラグは、作業中に他の人が誤って接続することがないように、必ずポケットに入れて携帯するか、安全な場所に置くこと。
- 高電圧作業時は、担当者を明確にし、他の人が車両に触れないようにすること。また、作業時以外は耐電カバーシート等で高電圧部品を覆い、他の人が触れないようにすること。
- リチウムイオンバッテリーを破損させるような衝撃を与えないこと。  
(ニブラを使った解体、リチウムイオンバッテリーが搭載されている状態でのプレス、フォークリフト等による突き刺し、高所からの落下等)

## 安全な作業を行うための重要事項

---

### 3) 高電圧ハーネス、機器の識別

高電圧ハーネス、コネクタはオレンジ色に統一してある。

また、リチウムイオンバッテリーをはじめ高電圧機器には「高電圧」のオレンジ色のラベルが貼り付けてあるので、これらのハーネスや部品には不用意に触れないこと。

### 4) 高電圧コネクタ、端子の処理

取り外した高電圧ハーネスコネクタ、端子は取り外し後直ちにリチウムイオンバッテリー側に絶縁テープを貼り絶縁すること。

### 5) 作業中の携帯禁止品

高電圧と強力な磁力を持つ部品が使われているので、短絡のおそれのある金属製品や、磁気記録破壊のおそれのある磁気記録媒体(キャッシュカード、プリペイドカード等)を身につけて作業を行わないこと。

### 6) 取り外したリチウムイオンバッテリーの保管

雨水にぬれない場所、直射日光に当たらない場所で保管すること。

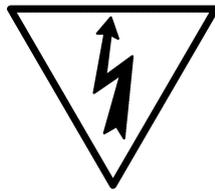
取り外したリチウムイオンバッテリーは火に近づけたり、加熱しないこと。

### 7) 「高電圧作業中」の表示(次ページ参照)

高電圧系の作業を行っている車両には「高電圧作業中に付き触るな!」の表示を行い、他の作業者にも注意を喚起する。

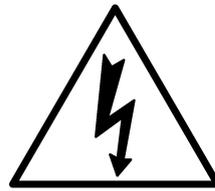
作業担当者

高電圧作業中に付き  
触るな！



発生！

警告！



高電圧作業中に付き  
触るな！

作業担当者

### 4. 液漏れへの対応

リチウムイオンバッテリーの電解液は無色透明で芳香臭があります。

電解液は、万が一リチウムイオンバッテリーが破損した場合にも、リチウムイオンバッテリーから大量に流出することはありません。

万が一、リチウムイオンバッテリーの電解液が漏れている場合は引火性があるため、直ちに火気より遠ざけてください。十分に換気を行い、電解液は耐溶剤保護具を着用してウエス等で拭き取ってください。

また、液漏れした電解液及びその蒸気は、空気中の水分と反応して酸性の物質を生成する可能性があり、皮膚や目に刺激性があるため、万が一、電解液に触れたり目に入った場合は、多量の流水でよく洗い流し、速やかに医師の診断を受けてください。

リチウムイオンバッテリー電解液以外のフルードは、エンジン車両で使用されている一般的な自動車フルードと同様です。エンジン車両の場合と同様の処置を行ってください。

**注意:** 電解液漏出時に用いる吸着マット、ウエスの廃棄は、都道府県知事の許可を受けた専門の産廃業者に委託してください。

## 5. 引き取りをお断りする事例

本マニュアル対象外のリチウムイオンバッテリー、又は車種別取り外し・回収マニュアルに沿わない取り外しによるリチウムイオンバッテリーは原則として引き取りはお断りさせていただきます。

引き取り対象外のリチウムイオンバッテリーであるため、引き取りをお断りする事例  
(代表例)

自社で取り外し作業を実施していないリチウムイオンバッテリー

本マニュアルに沿った取り外しが行われていないため引き取りをお断りする事例  
(代表例)

- ① サービスプラグを外していないもの
- ② オレンジ色の高電圧配線類を切断しているもの
- ③ ニブラ等重機を用いたためリチウムイオンバッテリーが変形・破損したもの
- ④ バッテリーケースを分解したもの
- ⑤ 屋外に長期間放置されて損傷が激しいもの

## 6. 安全な取り外しのために

まず始めに、前項 3. 安全な作業を行うための重要事項 を熟読の上、以下に記載の内容に沿った安全な取り外しを行ってください。

### (1) 車両外観上の特徴

本マニュアルは、ルノー・ハイブリッド専用マニュアルです。

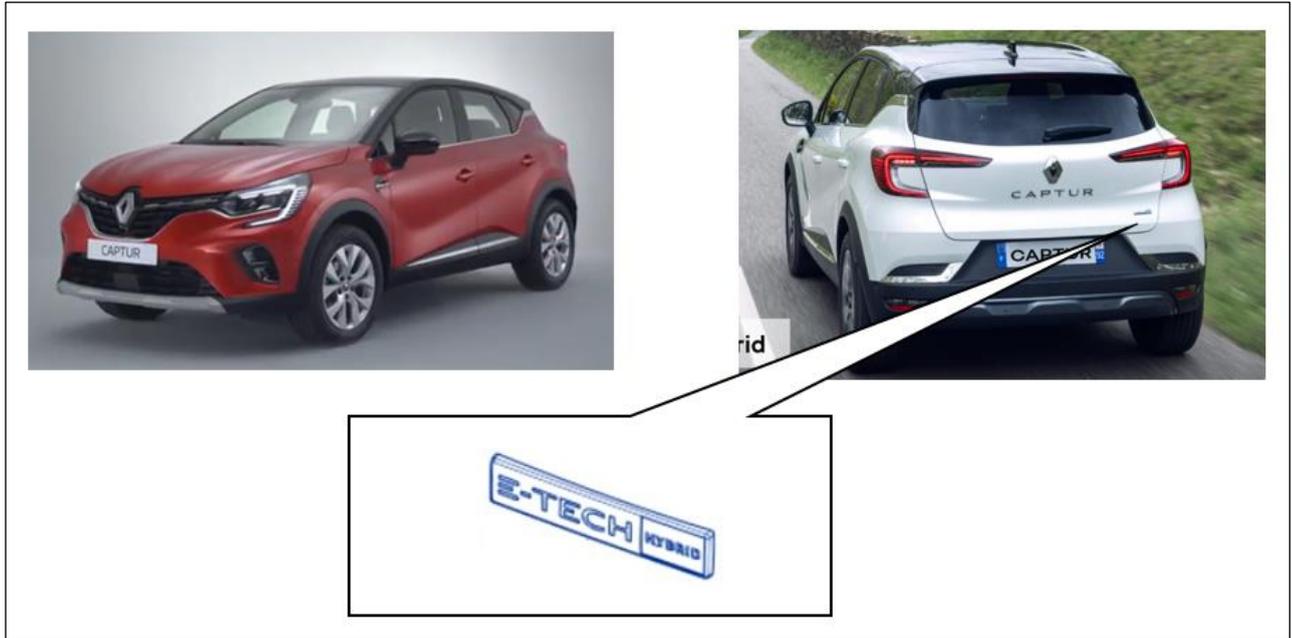
下記の特徴から車種を特定してください。

ルーテシア E-TECH HYBRID (空冷式リチウムイオンバッテリー:クーラント無)



安全な取り外しのために

キャプチャー E-TECH HYBRID (水冷式リチウムイオンバッテリー:クーラント付)

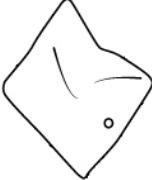
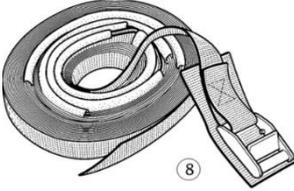
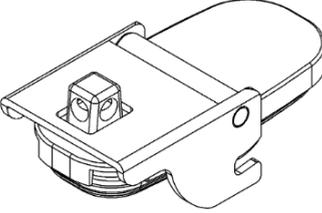
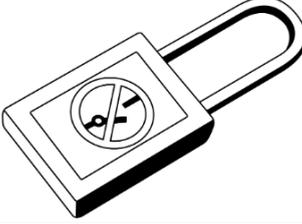


アルカナ E-TECH HYBRID (水冷式リチウムイオンバッテリー:クーラント付)

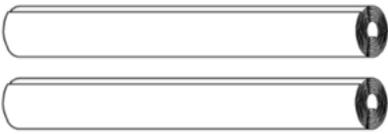
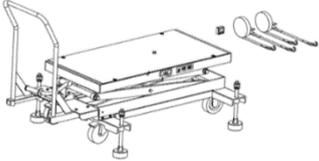
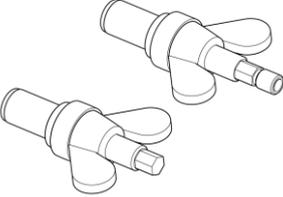


安全な取り外しのために

(2) 準備品

	名称	用途
クラス 00 または 0 の電気絶縁グローブ	—	電圧系部品の取り外し
作業着(主に綿素材)	—	高電圧系部品の取り外し
静電気放電靴	—	高電圧系部品の取り外し
フェースシールド	—	高電圧系部品の取り外し
耐電ヘルメット	—	高電圧系部品の取り外し
絶縁ラバーマット	—	高電圧系部品の取り外し
絶縁保護バッグ(代用品可)		高電圧ハーネスコネクタ、端子の絶縁処理
絶縁テープ	—	高電圧ハーネスコネクタ、端子の絶縁処理
トリム取り外しレバーセット	—	ドアストライカプレートのロック
ストラップ		車両リフトアップ時の固定
リチウムイオンバッテリーロックアウトツール(使用を推奨) 代用品: 絶縁テープ		サービスプラグ取外し後のリチウムイオンバッテリー保護
リチウムイオンバッテリーロックアウト南京錠 (リチウムイオンバッテリーロックアウトツールとセットで使用を推奨)		サービスプラグ取外し後のリチウムイオンバッテリー保護
電圧検知器、停止ツール		残電圧の測定

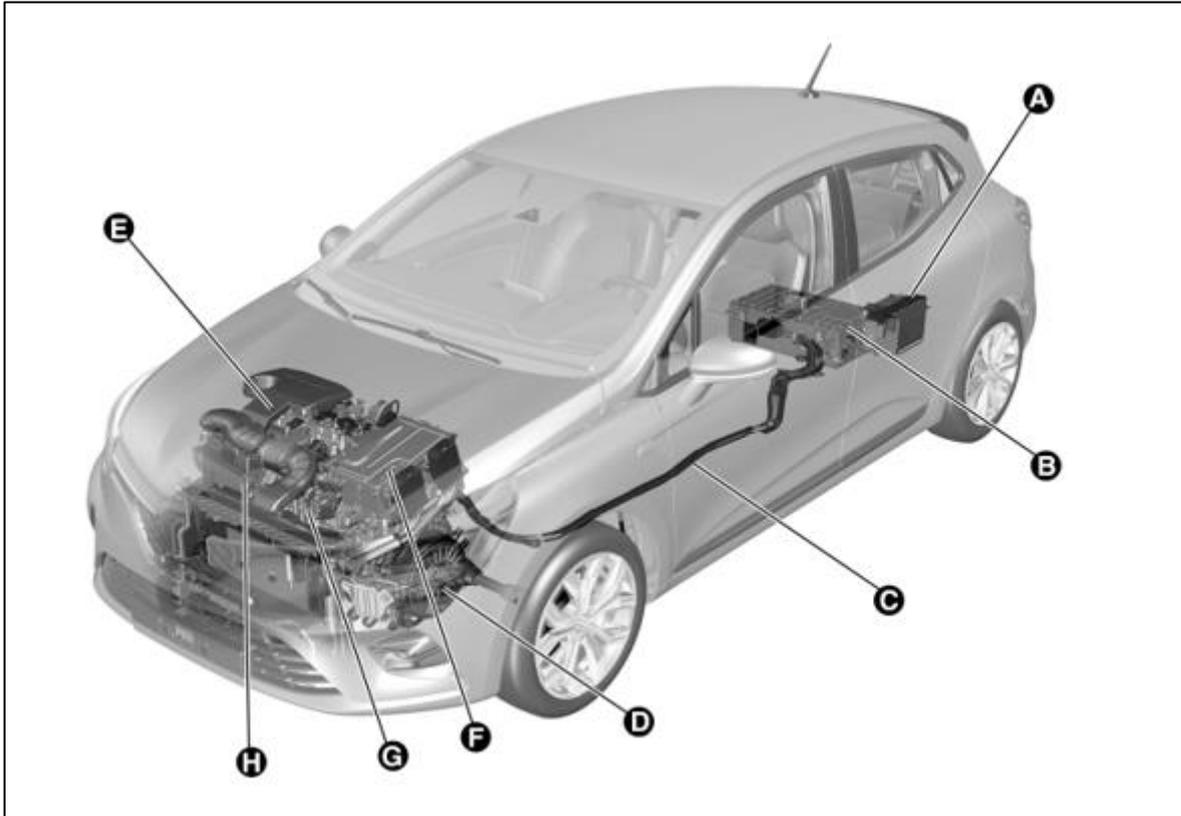
安全な取り外しのために

	名称	用途
絶縁ブランケット		作業中断時の感電防止
リフトテーブル		リチウムイオンバッテリーの取り外し
リチウムイオンバッテリー取外し/ 取付け用ツール または絶縁された台座		リチウムイオンバッテリーの取り外し
ラバー製スタッド	—	リチウムイオンバッテリーの取り外し
絶縁工具	—	リチウムイオンバッテリーの取り外し
ホースクランプツール	—	リチウムイオンバッテリー冷却水ホースの取り外し
シールプラグ (アルカナ、キャプチャーに適用) (代用品可)		リチウムイオンバッテリーからのクーラント漏れ防止
テープ (アルカナ、キャプチャーに適用) (シールプラグの代用品)	—	リチウムイオンバッテリーからのクーラント漏れ防止

### 7. 高電圧系部品と配線の位置

ハイブリッド車は、最大約 200～250V の高電圧システムを備えています。  
高電圧系部品と配線の位置を確認し、十分に注意して作業を実施してください。

(例) ルーテシア E-TECH HYBRID



A 12V セカンダリーバッテリー  
(電装品用)

B リチウムイオンバッテリー  
(駆動用)

C 高電圧ハーネス(オレンジ色)

D 駆動モーター

E ガソリンエンジン

F コンバーターアッセンブリ

G HSG(補助電気モーター)

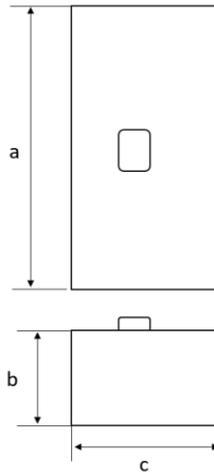
H A/C コンプレッサー

## リチウムイオンバッテリー仕様

### 8. リチウムイオンバッテリー仕様

#### ルーテシア リチウムイオンバッテリー

項目		仕様
種類		リチウムイオン電池
構成		2 モジュール (68 セル)
定格電圧	(V)	250 V
パック重量	総重量 (kg)	39.6

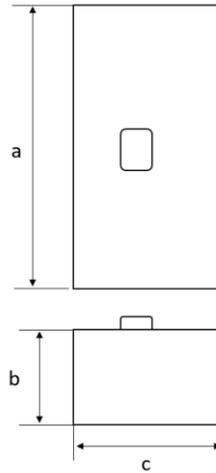


パック外形寸法	"a"	(mm)	637
	"b"	(mm)	262
	"c"	(mm)	422

## リチウムイオンバッテリー仕様

### キャプチャー、アルカナ リチウムイオンバッテリー

項目		仕様
種類		リチウムイオン電池
構成		2 モジュール (68 セル)
定格電圧	(V)	250 V
パック重量	総重量 (kg)	39.6



パック外形寸法	“a”	(mm)	671
	“b”	(mm)	260
	“c”	(mm)	422

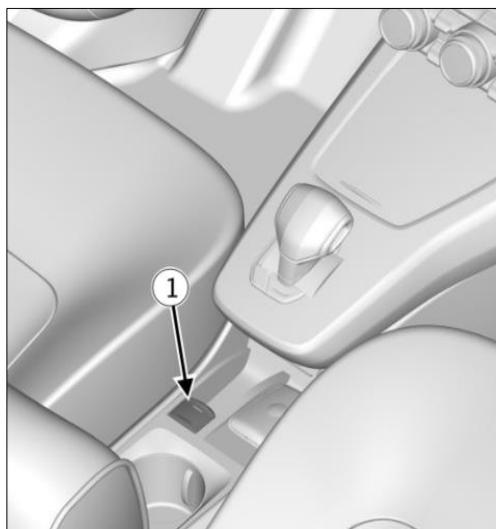
## 9. リチウムイオンバッテリー取り外し

**注意:** 放電・高電圧遮断・リチウムイオンバッテリー取り外しは、液材やフロンガス抜き取りなどの適正処理前に行うこと。



### (1) 高電圧遮断手順

1. 車両を 2 柱式リフトにセットし、ストラップ使用して車両を固定する。
2. 作業区域の境界を設定し、ほかに作業が行われていないこと、作業区域に他に人がいないことを確認する。
3. 始動／停止ボタンを押してパワーシステムを ON にする。
4. ボンネットを開く。
5. 車両を以下の状態にする。
  - ギアをニュートラル位置にする。
  - ブレーキペダルを踏む。
6. ボタン ①を押して、パーキングブレーキを解除する。



7. すべての電装品（ライト、フロントワイパ、ブロワ、エアコンなど）を OFF にする。
8. フロントドア、リア開閉部を開いたままにする。
9. トリム取り外しレバーを使用しフロントドア、リア開閉部のストライカプレートをロックする。
10. 始動／停止ボタンを押して、パワーシステムを OFF にする。

## リチウムイオンバッテリー取り外し

11. 車両のキー（ルノーカード）を使用して車両をロックする。

**注意:**

- キーを使用してドアをロックすると、画面が消灯する。
- コントロールユニットがスリープモードになっているときに、オープンスイッチまたは電装品を動作させない。

12. ドアを開いたままにして、車両のキー（ルノーカード）を車両範囲外に保管する。

13. ステアリングホイールがロックされていないことを確認する。

14. セントラルドアロック LED が消灯した後、コントロールユニットがスリープモードに入るまで 5 分間待つ。

15. 以下の保護具を着用する。

**注意:** 保護具に損傷がないこと。

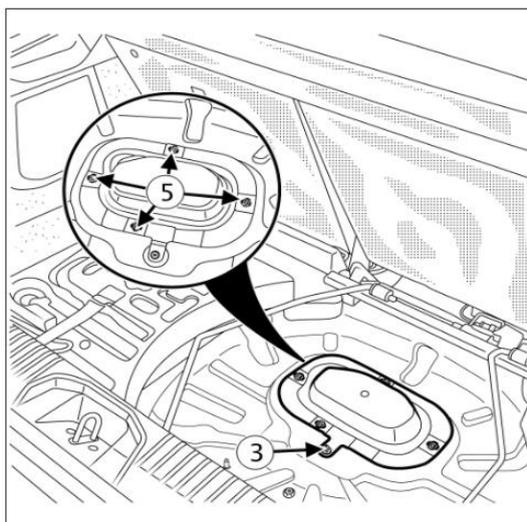
- 作業着（主に綿素材）
- 静電気放電靴
- クラス 00 または 0 の電気絶縁グローブ
- フェースシールド

16. 充電ケーブルが接続されている場合は接続を切り離す。

17. メーターの表示がオフになっていること、セントラルドアロック LED が消灯していることを確認する。

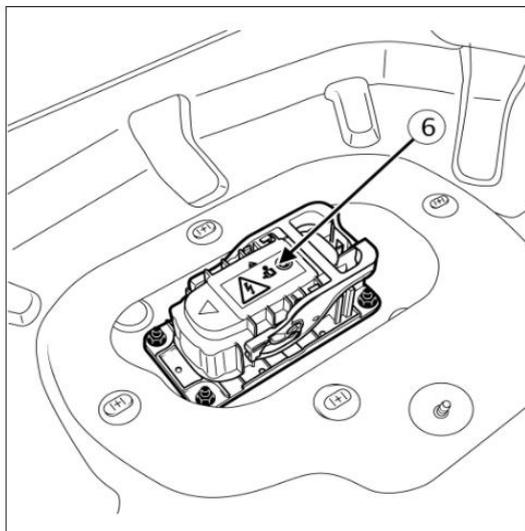
18. リチウムイオンバッテリーのサービスプラグ保護カバーからナット ③ を取外す。

19. サービスプラグ保護カバー固定クリップ ⑤（4つ）を 1/4 回転させて取り外す。

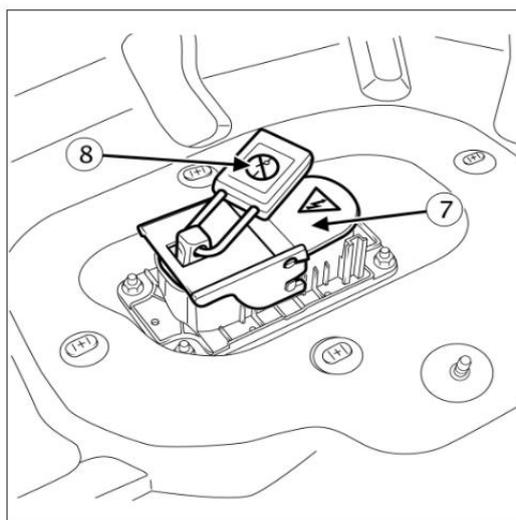


## リチウムイオンバッテリー取り外し

- サービスプラグ⑥のレバー(黄色)のロックを解除し、レバー(黄色)を引き上げてサービスプラグを取り外す。



- サービスプラグを切り離して 5 分間待つ。
- サービスプラグにロックアウトツール⑦およびロックアウト南京錠⑧を取り付ける。  
参考: ロックアウトツールおよびロックアウト南京錠が無い場合は、外したサービスプラグコネクタの端子が露出しないよう、直ちに絶縁テープで保護する。

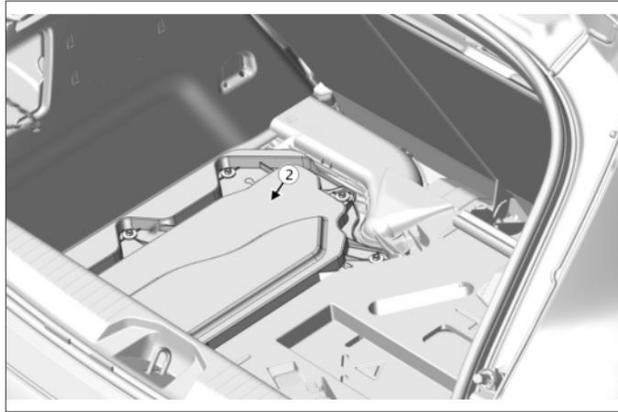


- サービスプラグを安全な場所に置く。

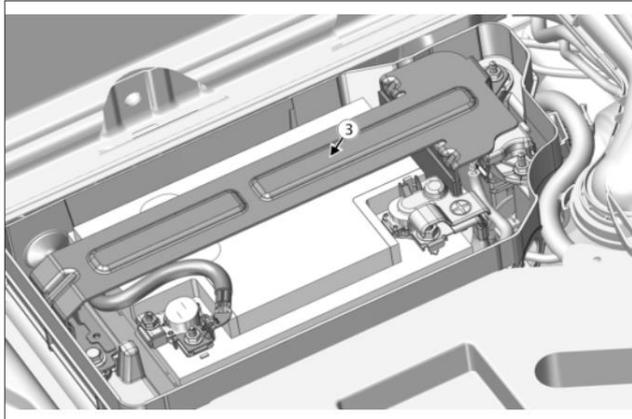
## リチウムイオンバッテリー取り外し

### (2) リチウムイオンバッテリー取り外し手順

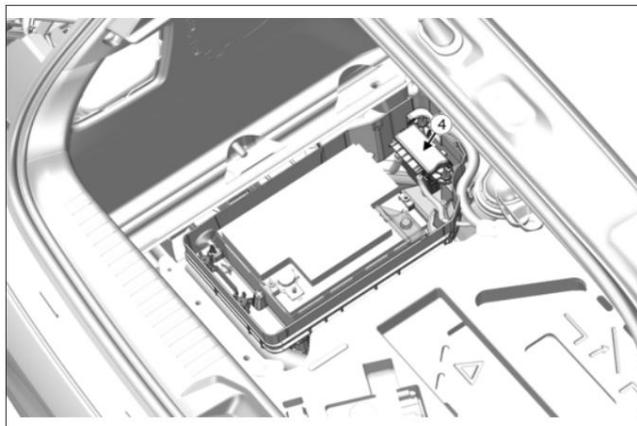
1. トランクフロアカーペットを取り外す。
2. バッテリートレイカバー②を取り外す。



3. バッテリー上部ブラケット③を取り外す。



4. バッテリーディスコネクションユニット④を取り外す。



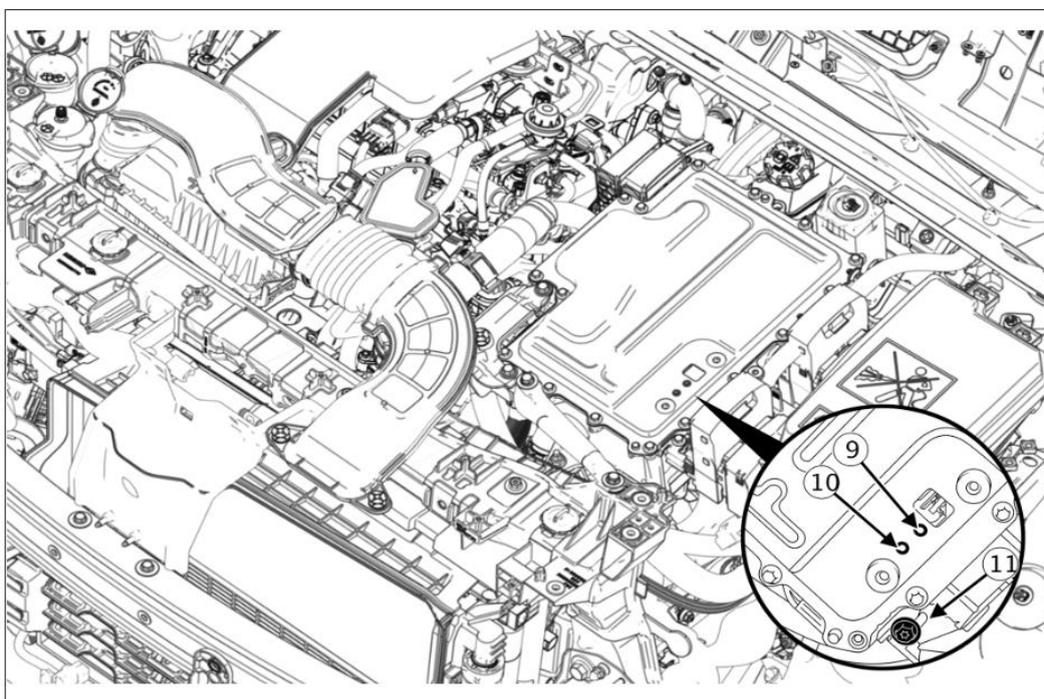
5. 12V セカンダリーバッテリーからマイナス端子を外す。
6. 12V セカンダリーバッテリーからプラス端子を外す。

## リチウムイオンバッテリー取り外し

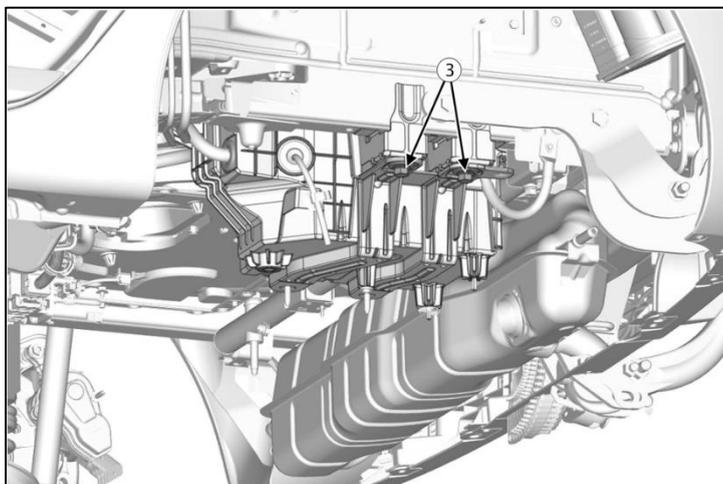
- 12V セカンダリーバッテリーを取り外す。
- キャパシタンスモジュールの電圧検知器フラップの取り付けボルト(2本)を取り外して、電圧検知器フラップを取り外す。
- 電圧検知器を使用し、キャパシタンスモジュールの2つの電圧測定ポイントに電圧がないことを点検する。

**警告:** 電圧検知器が正しく動作することを確認してから点検を行うこと。また、測定後も電圧検知器が正しく動作しているか確認すること。

- 測定ポイント 9 - 10 間
- 測定ポイント 9 - 11(ボディアース)間
- 測定ポイント 10 - 11(ボディアース)間

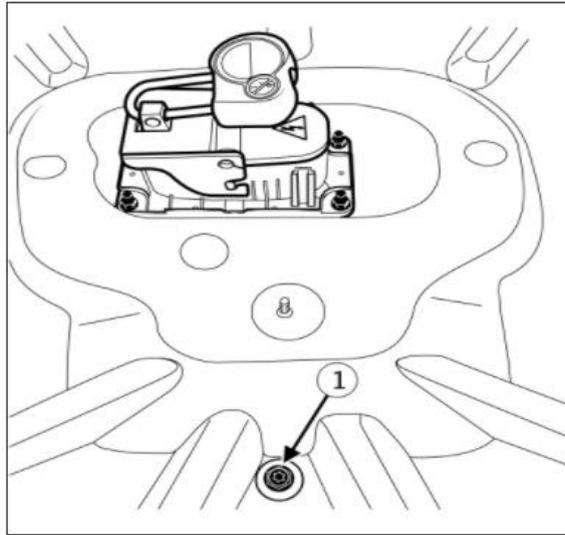


- バッテリートレイ固定ボルト③を取り外す。

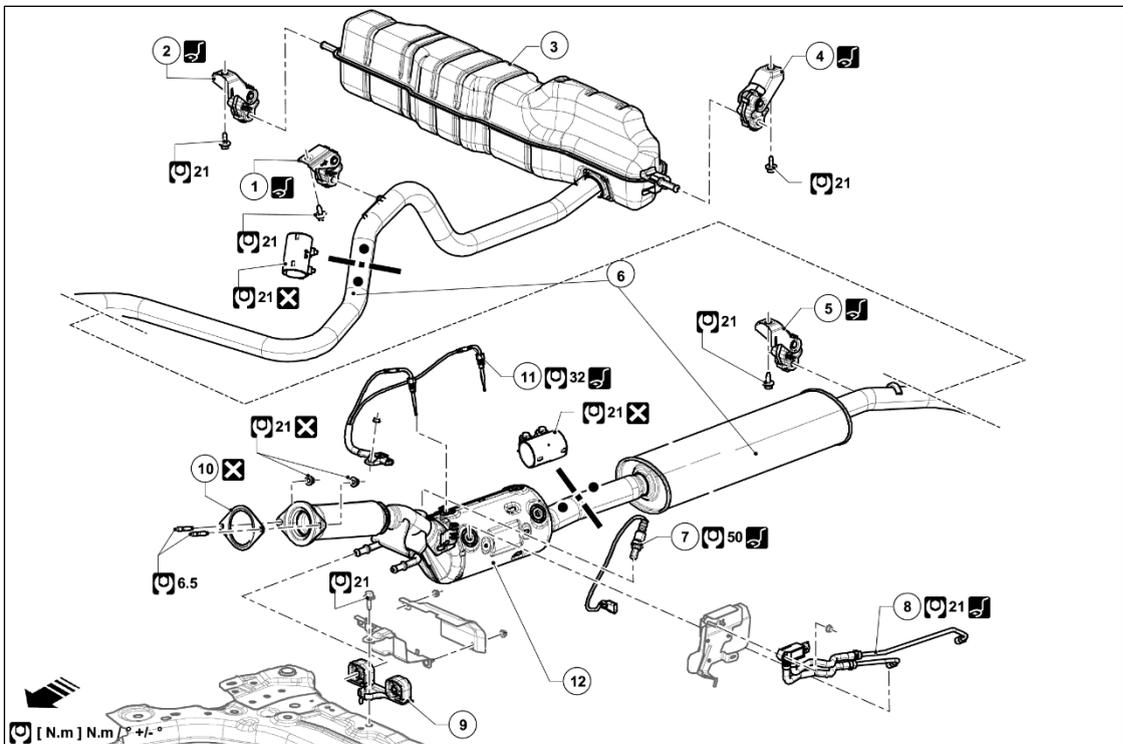


## リチウムイオンバッテリー取り外し

11. ローディングエリアのクロスメンバーから取付ボルト①を取り外す。



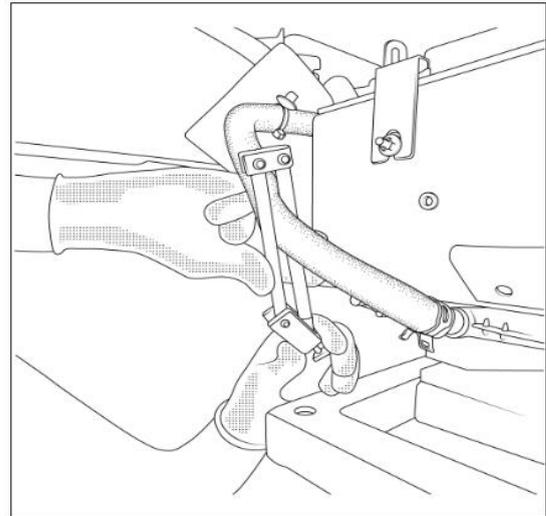
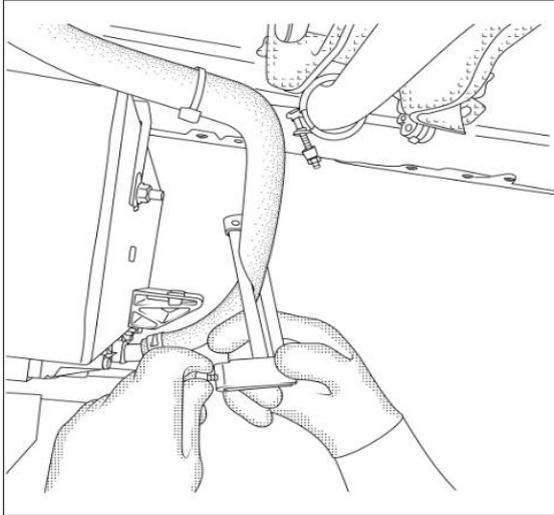
12. 車両をリフトアップする。  
13. サイレンサーの下に ジャッキを置く  
14. エグゾーストラバーパッド①②④⑤を取り外す。  
15. マフラー③を取り外す。  
(---位置で切断、またはパティキュレートフィルタ⑫とエグゾーストパイプの締結ナットを取り外す。)



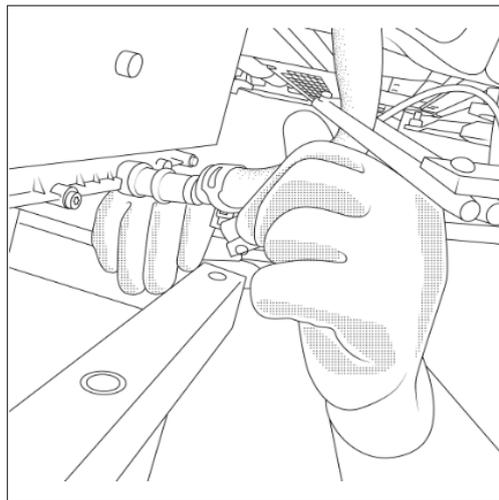
16. マフラーのヒートシールドを取り外す。  
17. リチウムイオンバッテリーのヒートシールドを取り外す。

## リチウムイオンバッテリー取り外し

18. ホースクランプツールをリチウムイオンバッテリー冷却インレットパイプおよびアウトレットパイプに取付ける。(アルカナ、キャプチャーのみ) (水冷式リチウムイオンバッテリー:クーラント付)



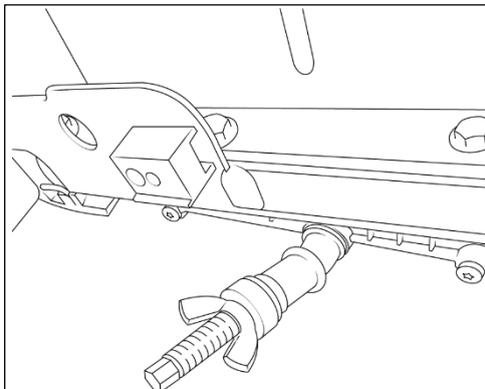
19. リチウムイオンバッテリー冷却インレット／アウトレットパイプを取外す。(アルカナ、キャプチャーのみ) (水冷式リチウムイオンバッテリー:クーラント付)



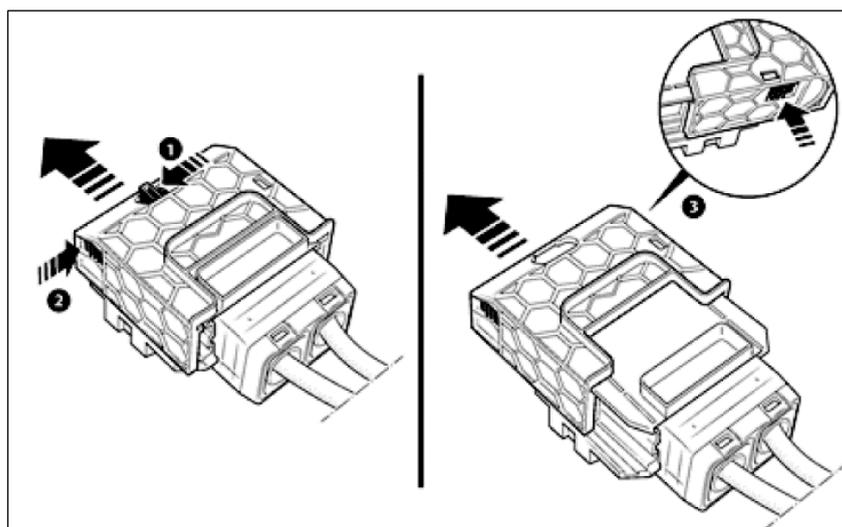
20. パイプ内に残留したクーラントを、エアブローで取り除く。(アルカナ、キャプチャーのみ) (水冷式リチウムイオンバッテリー:クーラント付)

## リチウムイオンバッテリー取り外し

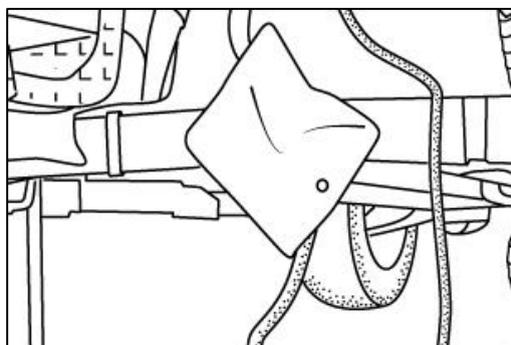
21. リチウムイオンバッテリー冷却インレット／アウトレットデフレクタにシールプラグを取付ける。(アルカナ、キャプチャーのみ)(水冷式リチウムイオンバッテリー:クーラント付)  
参考:シールプラグが無い場合は、リチウムイオンバッテリー冷却インレット／アウトレットデフレクタにテープを貼りクーラント漏れを防止する。



22. 矢印 ①、②、③ で示されているように、リチウムイオンバッテリーから高電圧コネクターの接続を外す。

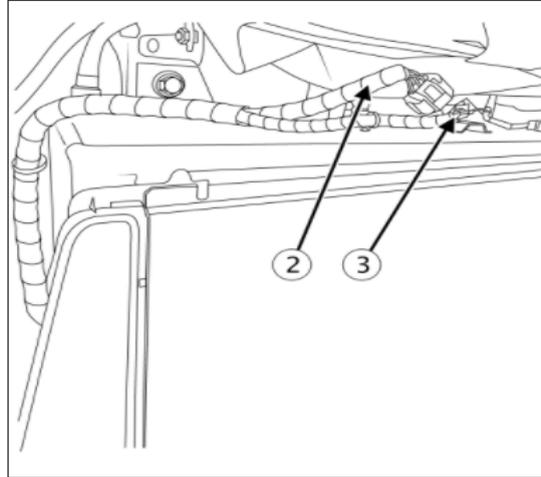


23. 絶縁保護バッグ(絶縁テープで代用可)を使用して、高電圧コネクタースocketを保護する。

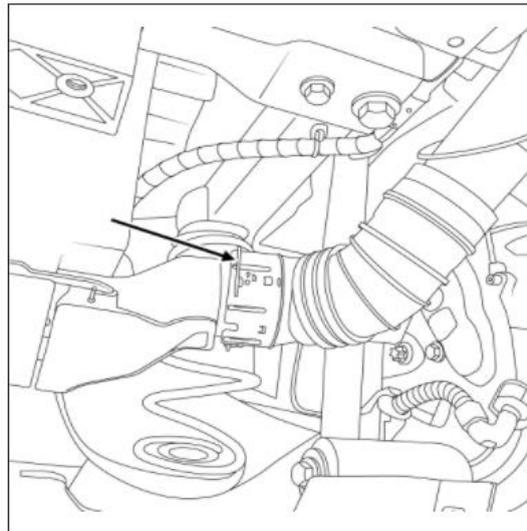


## リチウムイオンバッテリー取り外し

24. リチウムイオンバッテリーから黒の配線(電源コネクターのオレンジ色ハーネスの横)を外す。
25. リチウムイオンバッテリー低電圧コネクター②を外す。
26. エアダクト温度センサに接続されている配線③を外す。

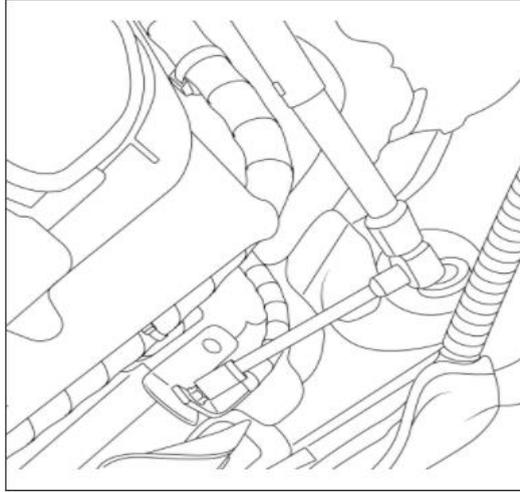


27. トリム外しレバーを使用してエアダクトを外す。(ルーテシアのみ)(空冷式リチウムイオンバッテリー:クーラント無)

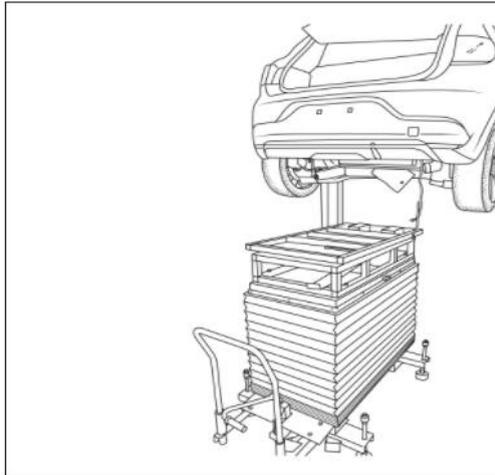


## リチウムイオンバッテリー取り外し

28. 絶縁マグネットソケットを使用して、リチウムイオンバッテリーアースストラップのナットを取外す。

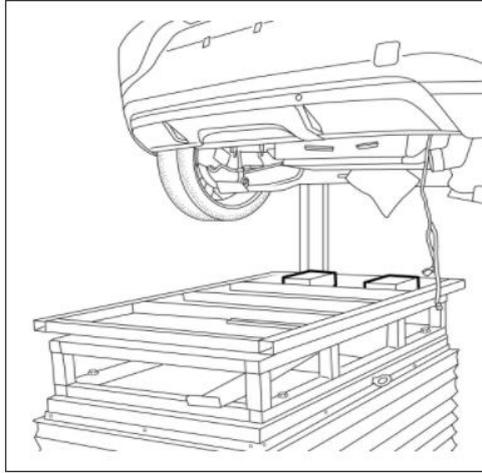


29. アースケーブルを脇へ寄せる。
30. リチウムイオンバッテリー取外し/取付け用ツールをリフトテーブルに取り付ける。  
参考: ツールが無い場合は絶縁ラバーマットをリフトテーブルに敷く。



## リチウムイオンバッテリー取り外し

31. リチウムイオンバッテリー取外し/取付け用ツールに ラバー製のスタッドを取付け、リチウムイオンバッテリー支持する。

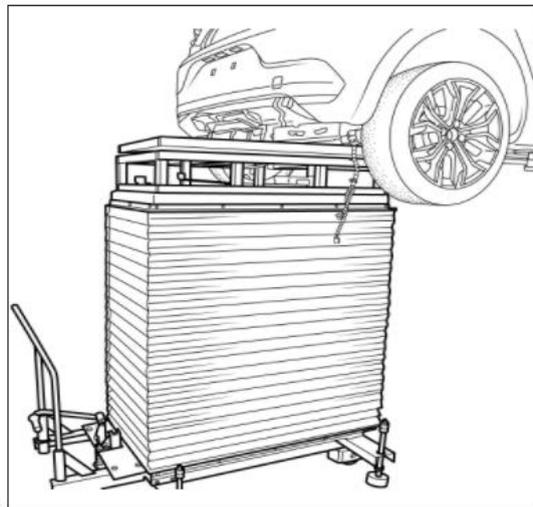


32. 車両下側にリフトテーブルを配置する。

**注意:** リフトテーブルがバッテリーに対して中央に配置されていることを確認すること。

33. ラバー製のスタッドをリチウムイオンバッテリーと接触させる。

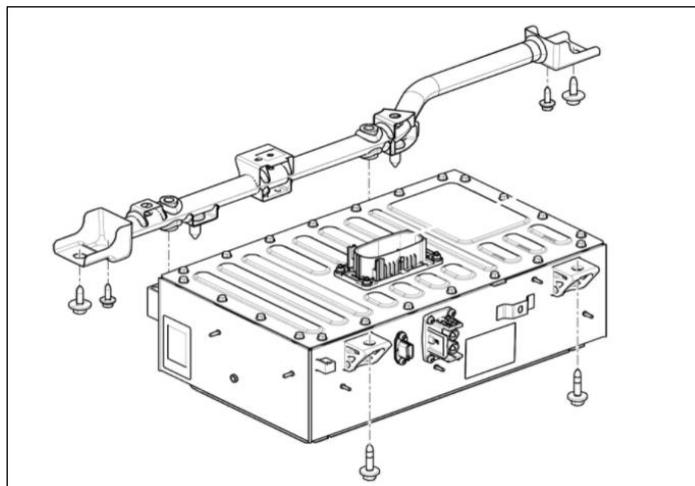
**注意:** ラバー製のスタッドが車両と接触したらすぐにリフトテーブルの上昇を停止する。リフトテーブルでの作業全体において、車両の4つの支点がリフトの4本のパッドと常に接触していること。



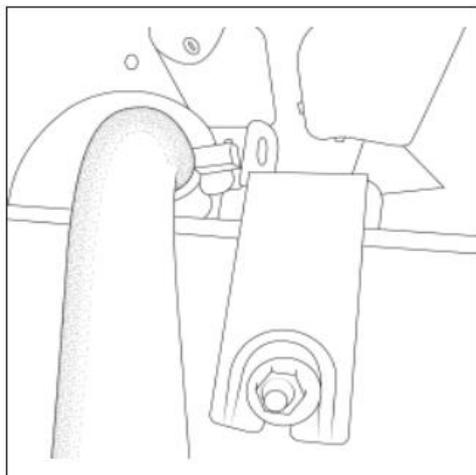
## リチウムイオンバッテリー取り外し

34. リチウムイオンバッテリーアセンブリおよび固定クロスメンバーから取付けボルトを取外す。

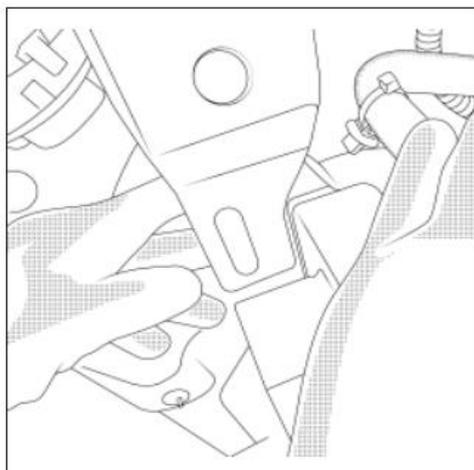
**注意:** リチウムイオンバッテリーのボルトを取り外すときに、リフトテーブルが若干下がる場合には、ペダルを1、2回踏んでリチウムイオンバッテリーの高さを調整する。



35. クーラントパイプのクリップが見えるまで、リチウムイオンバッテリーアセンブリを部分的に下げる。  
(アルカナ、キャプチャーのみ) (水冷式リチウムイオンバッテリー:クーラント付)

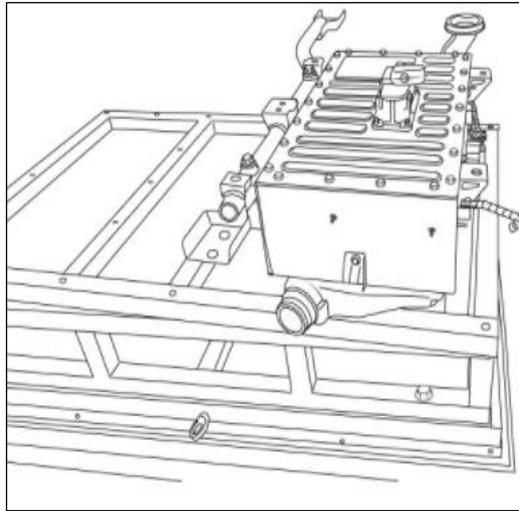


36. クーラントパイプのクリップを外す。(アルカナ、キャプチャーのみ) (水冷式リチウムイオンバッテリー:クーラント付)

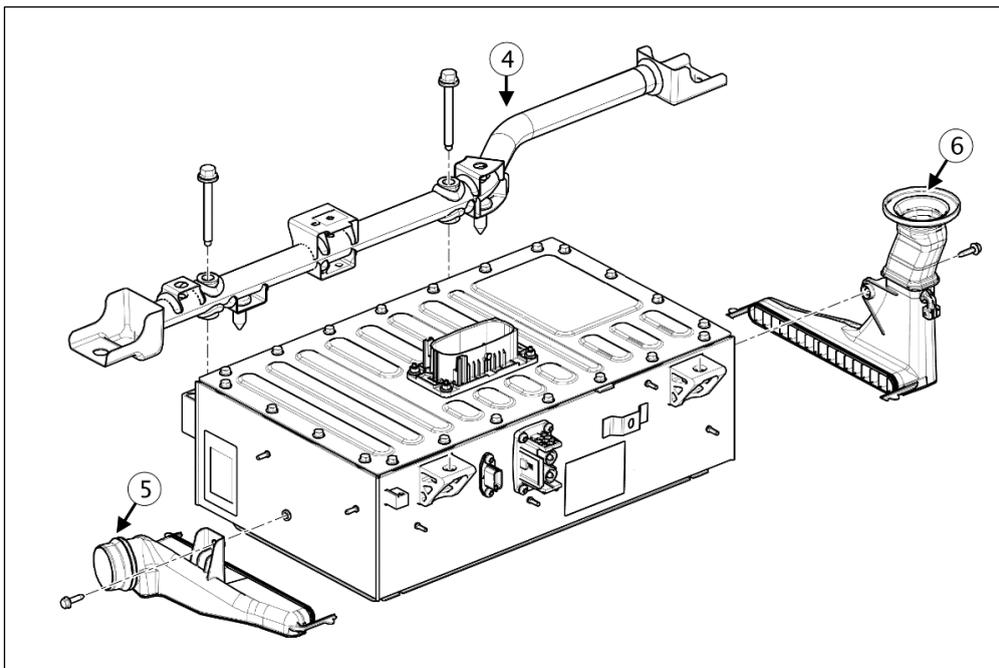


## リチウムイオンバッテリー取り外し

37. リフトテーブルを操作し、リチウムイオンバッテリーアセンブリを下げる。



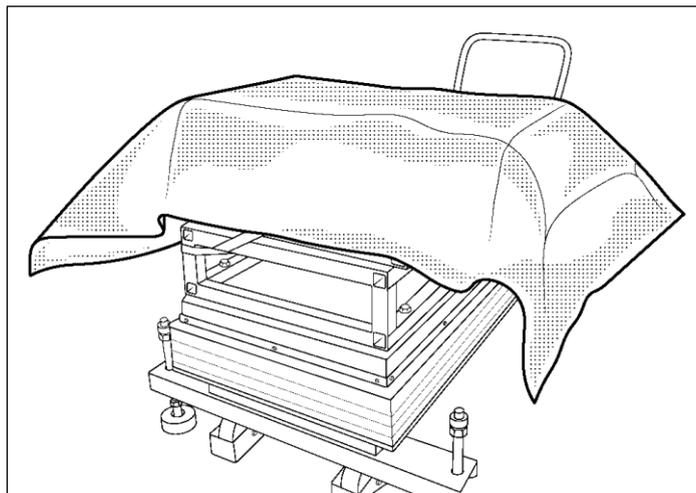
38. リチウムイオンバッテリーアセンブリを取付け/取外しツールに固定する。  
39. リチウムイオンバッテリー固定クロスメンバー④を取外す。



40. エアダクト⑤と⑥を取外す。(ルーテシアのみ)(空冷式リチウムイオンバッテリー:クーラント無)

## リチウムイオンバッテリー取り外し

41. 絶縁ブランケットを使用してリチウムイオンバッテリーを保護する。



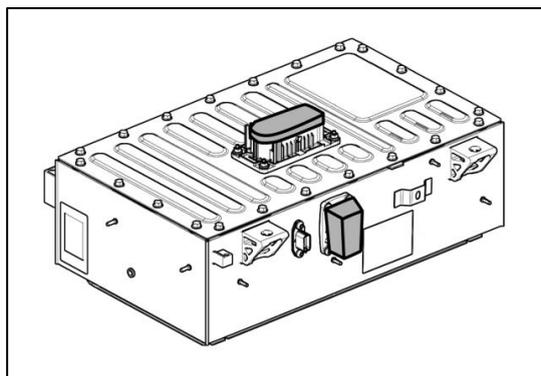
**警告:** 事故防止のため、リチウムイオンバッテリーを載せて上がった状態のリフトテーブルを動かさないこと。リチウムイオンバッテリーを移動する必要がある場合は、必ずリチウムイオンバッテリーをしっかりとリフトテーブルに固定すること。

**警告:** フォークリフト等による突き刺し、高所からの落下等リチウムイオンバッテリーを破損させるような衝撃を与えないこと。

**注意:** 雨水にぬれない場所、直射日光に当たらない場所で作業すること。

42. リチウムイオンバッテリーを移動させ、高電圧ハーネスコネクターの端子が露出しないよう、直ちに絶縁テープで保護する。

ロックアウトツールを取り付けている場合は、サービスプラグコネクタからロックアウトツールを取り外して、サービスプラグコネクタの端子が露出しないよう、直ちに絶縁テープで保護する。

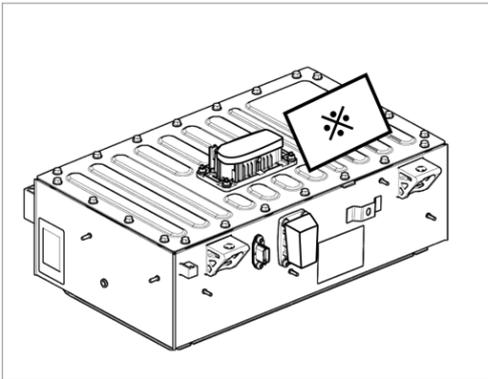


## リチウムイオンバッテリー取り外し

### (3) 引き取りの準備

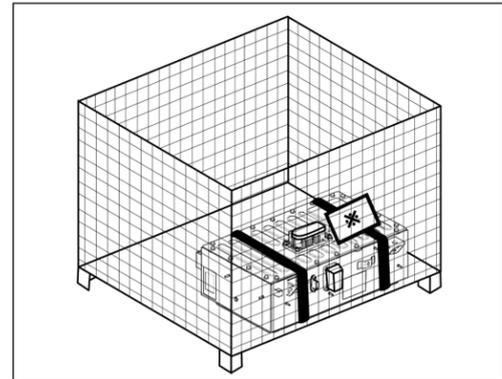
1. 回収日時確定後、引取依頼システムから『取扱注意書』を印刷して、バッテリーに貼り付けをお願いします。
2. 輸送業者が回収日に網パレットを持参します。
3. 輸送業者へリチウムイオンバッテリーを「車上渡し」で引き渡してください。

引き渡し荷姿



※取引日時連絡票を解体事業者様にて添付

運搬時荷姿



※取り扱い注意書を運搬会社にて添付

本書は、著作権で保護されております。私的複製を除き、本書の全文又は一部をルノー・ジャポン（株）に無断で複製、改変することなどを、媒体を問わず禁止します。このような不正使用行為は、民事上の損害賠償の、また刑事罰の対象となります。

©Copyright 2022 Renault Japon Co. Ltd., All rights reserved